



三蔵五訓

真理を探究し,道理を実践する。  
豊かな品性を養い,不屈の魂を育てる。  
生命を尊重し,自然を畏敬する。  
個性を伸展し,紐帯性を培う。  
未来を志向し,可能性に挑む。

2022.12.10 Vol. 174



キャンパスイルミネーション点灯式での打ち上げ花火

# 揺るぎなく前進！

イベント	1
トピックス	2
第48回 三蔵祭	6
活躍する教員&学生	9
入試広報室から	15



# キャンパスイルミネーションを開催！

3年目を迎えた「キャンパスイルミネーション」が、三蔵祭前日の10月21日(金)にスタートしました。3年ぶりに対面方式による三蔵祭を開催するにあたって、景気付けと学生の「盛り上げたい」という想いを込めて、三蔵祭の前夜祭として盛大に点灯式を執り行いました。

当日は、吹奏楽部やダンス部によるパフォーマンスや、昨年に引き続き「打ち上げ花火」による豪華な演出もあり、学内関係者のみならず学外からも多くの方がお越しくださいました。来場者は各々お気に入りの場所で写真を撮られ、なかでも1番人気の「光のドーム」には撮影待ちの人たちで長蛇の列ができていました。

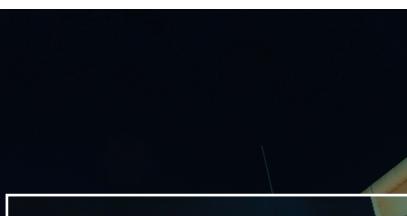
今年のテーマである「光と音の共鳴」にちなんで「ミュージックイルミネーション」という新たな演出にもチャレンジしています。また、制御装置を用いて光をコントロールし、音に合わせて色や動きを変化させることで、学内がよりポップな雰囲気に変化しました。制作に関しては、デザイン・設置まですべての作業をキャンパ

スイルミネーション実行委員の学生が主体となって行っています。「8万球が彩る光の世界」を広大なキャンパスを使って表現しており、多くの皆さんに元気と勇気、そして癒しの時間を与えてくれています。積極的にキャンパスを盛り上げようとする学生の取り組みを、今後も応援していただきたいと願っています。

学内でキャンパスイルミネーション及び打ち上げ花火を実施するにあたり、多くの方々にご理解、ご協力をいただきましたこと、大変感謝しています。この場を借りて御礼申し上げます。今後とも未来ある学生のために、よろしくお願ひいたします。

キャンパスイルミネーションは12月21日(水)まで開催しております。「ミュージックイルミネーション」の実施日や点灯時間など、詳しくは学友会のWebサイトにて情報発信していますので、是非ご覧ください。

学生課



キャンパス  
イルミネーション2022



## 薬学部が開設40周年を迎えました！

福山大学薬学部は1982年に開設され、お陰を持ちまして本年で40年の歴史を創ることができました。10月2日(日)には、大学会館にて開設40周年記念式典を開催しました。ご来賓、医療・薬事関係、高等学校関係の皆さま、卒業生、在学生、旧及び現教職員の皆さまにご臨席賜り、喜びを皆さまと共に大いに満喫し、かつ今後の益々の発展を決意いたしました。

式典では、まず学部長の井上より開式の挨拶と皆さまへの感謝を申し上げ、学校法人福山大学より鈴木省三理事長、福山大学より大塚豊学長が40周年の思い出と感謝を込めたご挨拶を行いました。その後、ご来賓の(公社)広島県薬剤師連盟会長の豊見雅文様、(一社)広島県病院薬剤師会会长の松尾裕彰様、(一社)福山市薬剤師会会长の村上信行様よりそれぞれ丁寧で心温まるご祝辞をいただきました。

式典後、(一社)日本病院薬剤師会前会長の木平健治様より「病院薬剤師のこれから」、また(公社)日本薬剤師会元理事であり(公社)東京都薬剤師会会长の永田泰造様より「今、求められている薬局薬剤師の役割(行動変化に向けての展望)」というタイトルで、記念講演をいただきました。現在社会における薬剤師の職能の行方を考え、薬剤師の意識の啓発として、出席している学部学生に話しかける口調でご講演いただき、また大学にはまさに未来創造の薬剤師を養成する責任を問うという、熱く心に響くご講演でした。

今日、薬学部には6年までの学部学生と大学院薬学研究科院生、教職員の総勢700余名が、共に「社会に貢献できる薬剤師の輩出」という使命を引き継ぎ、優秀な薬剤師養成のため、日々研鑽しています。昨年度、新たに完成した

未来創造館などの充実した施設において、薬学研究と国内でのパイオニアともなる「福山大学方式」の医療薬学教育を実践しています。さらに、40周年の節目に薬学教育評価機構から薬学教育プログラム基準適合のお墨付きをいただき、薬剤師国家試験の高い合格率維持を目指しています。

このような状況で40周年の嬉しい日を迎えられましたのも、福山大学法人、全教職員の皆さま、記念式典ご臨席の皆さま、その他全ての関係の皆さまのご協力、ご鞭撻のおかげと大変感謝しています。今後、さらに福山大学薬学部を発展していくべく、心を新たにして邁進していく所存です。皆さま全員が益々ご健勝でご繁栄されますことをお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらず、福山大学薬学部をよろしくお願い申し上げます。

薬学部長 井上 敦子



# 来年度より心理学科に 「司法犯罪コース」と「心理臨床コース」を新設!

心理学を基礎から応用まで学べる広島県東部唯一の心理学科として、また西日本随一の犯罪心理学の拠点として、教育・研究・地域貢献に取り組んでいる本学の心理学科。更なる躍進のため、2023年4月から「司法犯罪コース」と「心理臨床コース」を誕生させることとなりました。より実践的な、より専門的な心理学教育が受けられる学科として、新たにスタートします。

「司法犯罪コース」では、科学捜査研究所等における実務経験を持つ複数の実務家教員が実践的な授業を展開します。実は、本学は科捜研出身の教職員が3名在籍しているという、全国的に非常に珍しい大学です。「司法・犯罪心理学」の授業がある大学は多くありますが、実際の実務経験を持つ複数の教員のもとで実践的な授業を受けることができ、リアルな司法・犯罪に関する知識を習得できる大学はほとんどありません。ここでは、司法・犯罪心理学分野における生きた知識を詳細に学べるとともに、演習や実習を通じて実践的なスキルが修得できます。犯罪心理学の知見を活かしたボランティア活動への参加を通じ、コミュニケーション力や応用力も身につきます。本学科には、科学捜査研究所で勤務したり、警察官や少年補導職員(少年育成官)として勤務する卒業生もたくさんいますが、コース制導入後は警察関係職、矯

正関係職への就職バックアップ体制もさらに充実させる予定です。

「心理臨床コース」では、医療・福祉・産業などの現場で実務経験を積んだ複数の実務家教員が実践的な授業を展開します。様々な心理的問題を抱える人の多い現代社会では、多様な分野で心理的サポートが求められています。ここでは、カウンセリングの基本的態度や知能検査や性格検査の実施方法など臨床心理学の基本的な知識から、精神疾患の種類や治療、ストレスに関する基礎知識等の各分野に特化した専門的な知識まで、生きた知識を幅広く、バランスよく学びます。さらに、演習や実習を通じて自ら体験しながら、心理臨床スキルを体系的に修得することが可能です。発達障害や発達に特徴を持つ子どもたちに対するボランティア活動や、後輩への学修支援や仲間づくりのサポートを行う学生サポート活動などを通じて、実践力や対応力も身につきます。また、学科附属の「こころの健康相談センター」における実習も可能です。

いずれのコースも、国家資格である公認心理師カリキュラムも整備されています。世に役立つ、リアルな心理学を学んで、あなたも心理職を目指しませんか。

心理学科 講師 大杉 朱美



# 2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへ出場！

## 【戦績】

「2022年度(第46回)中国大学サッカー選手権」において、2年連続8回目の優勝を果たし、「2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」へ出場しました。

## 【2022年度(第46回)中国大学サッカー選手権】戦績

- ◆1回戦 シード
- ◆2回戦 6/19 vs川崎医療福祉大学 4-2○ @キリンレモンスタジアム
- ◆3回戦 6/26 vs鳥取大学 6-0○ @高川学園高等学校 第2グラウンド
- ◆準決勝 7/2 vs広島大学 4-0○ @周南公立大学
- ◆決勝 7/3 vs周南公立大学 5-0○ @周南公立大学

## 【2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント】戦績

- ◆1回戦 8/18 vs四国学院大学(四国地区第1代表) 1-0○ @松島フットボールセンター
- ◆2回戦 8/21 vsびわこ成蹊スポーツ大学(関西地区第3代表) 0-2● @松島フットボールセンター

## 【総評】

平素より福山大学学友会サッカー部を応援していただいている関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

「2022年度(第46回)中国大学サッカー選手権」では、2年連続8回目の優勝を果たすことができました。結果としては大差のゲームになっていますが、どの対戦相手もそのような明確な差はなく、紙一重の領域をこちらに持って行ったような試合が続きました。

準決勝・決勝もそのような展開でしたが、この2試合を経て、チームはぐっと成長することになるターニングポイントでした。

「2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」では、21年ぶりとなる全国大会で勝利することができました。ここ数年、全国大会での勝利が絶対的課題ということを公言してきましたが、ついに達成することができ、チーム全体として次のステージに進むことができました。

2回戦では、びわこ成蹊スポーツ大学に敗れてしまいましたが、昨年度に引き続き全国大会での「基準」を持ち帰ることができ、今後に活かしている最中です。

また、新型コロナウイルス感染症に対する社会的対応が変化してきていることからも、少しづつ社会貢献活動にも力を再投入しようと考えています。このような活動を行う意味としましては、我々が存在している社会への多角的な貢献と、活動を行うことによる学生の人間力向上にあると考えています。まずは、我々が通わせていただいている学内の清掃活動から始めさせていただき、できる範囲で活動内容を拡げていければと考えています。

大前提として学生の本分は学業にありますので、この考え方についてのアプローチも根気強く続けていきます。

人間力の向上なくして競技力の向上はないという考え方のもと、歩みを続け、搖るぎなく前進する福山大学学友会サッカー部を今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

学友会サッカー部 監督 的場 千尋



【2022年度(第46回)中国大学サッカー選手権】優勝



【2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント】1回戦/スタメン



【2022年度 第46回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント】1回戦/21年ぶりの勝利

# BINGO OPEN インターンシップ 2022!

コロナ禍の影響を受け、変化を余儀なくされた「BINGO OPEN インターンシップ」ですが、今年は、まさにWith／Afterコロナ時代に相応しいインターンシップ運営に切り替わったと言える一年になりそうです。その理由の一つが、社会人基礎力診断テストを用いた成長評価の研究です。2年前よりオンライン診断を導入し、実習前後での社会人基礎力の変化に関する比較研究を行ってきましたが、インターンシップのタイプ(対面型、オンライン型、混合型)によって成長する能力要素が異なる傾向が見つかり、学生と企業をマッチングする新たな視点を得ることができました。

また、キャリアコンサルティングの国家資格を有する専任スタッフによる実習後の個別カウンセリングにより、実習で



の学びが大幅に深まったという研究結果も報告されています。インターンシップの認知度が高まるにつれ、採用目的重視のインターンシップも増えつつありますが、福山大学ではキャリア観の醸成につながる教育目的重視のインターンシップを実践していくため、教育及び研究の両面からインターンシップの充実に取り組んでいます。今年のインターンシップ運営実績は、受入企業数65社、参加学生数175名となりました。今後も自分未来創造室スタッフ一同、インターンシップの更なる改善に力を注いでいきます。

大学教育センター 講師

キャリア形成支援委員会 副委員長 前田 吉広

分析結果の考察と対策案	
学年	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスの能力変化は学年による (目的意識、知識・スキルの高さ)</li> <li>・「課題発見力」の向上と共通課題</li> </ul>
学部	<p>対策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>年齢・経験等が異なる者同士での業務経験</b></li> <li>・達成目標の調整・最適化</li> <li>・<b>「フィードバック」</b>の充実</li> </ul>
類型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属学部で能力変化が異なる傾向 (例：経済学部の「実行力、発信力」)</li> </ul> <p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>所属学部の特性を考慮したグループ編成やプログラム</b></li> <li>・<b>「オンライン化ポジティブ」に沿える積極的な活用</b></li> <li>・<b>自社の育成・採用方針に沿った手法の選択と開発</b></li> </ul>

## 第1回せとうちビジネスコンテストで最優秀賞を受賞！

今年初めての開催となる「せとうちビジネスコンテスト」にエントリーしたキャリアデザインゼミ所属の藤本悠太さん(心理学科3年)、森山竜斗さん(メディア・映像学科3年)、井丸竜輝さん(経済学科3年)が、9月25日(日)に広島県民文化センターふくやまで開催された公開プレゼンテーション審査の末、見事「最優秀賞」を受賞しました。

発表したビジネスプランは、三次市甲奴町の観光名所の一つ「品の滝」を利用した移動型サウナサービス「REBORN SAUNA(リボーン サウナ)」で、半年以上にわたって取り組んできた甲奴町の地域課題解決プロジェクトから生まれたアイデアの一つです。エントリー総数38組の中から最終選考に進んだ10チームのビジネスプランは、医療福祉分野からコ



ミュニティビジネス、環境問題に取り組むものまで幅広く、審査発表の瞬間まで受賞チームの予測が全くつかない状況でした。最優秀賞の発表後、コメントを求められた藤本さんは「最優秀賞をいただけたのは、たくさんの方々のサポートのお陰です。これからも、地域貢献を通じて成長していきたいと思います」と受賞の喜びを語りました。

受賞者は今後、運営事務局よりビジネスプランの実現に必要な資金及び人的支援を得ることができます。2023年4月の事業化を目指して奮闘している3名に、これからも応援をよろしくお願ひいたします。

大学教育センター 講師

キャリアデザインゼミ 顧問 前田 吉広



# 第48回 三蔵祭

## 経済学部 経済学科 模擬店企画・運営で生の経済を学ぶ

経済学科では、講義内容・ゼミの活動・研究活動などについてポスター展示を行いました。高羅ゼミでは、昨年度のゼミ活動、5月の基礎ゼミでの異学年交流会、7・9月のキャンパス見学会での学生ボランティアの様子をポスターにまとめました。

模擬店では、高羅ゼミ3・4年生存有志の21名で焼き鳥を販売しました。3年ぶりの対面開催で、自分たちで企画・運営するのが面白ううだなと思い、私も参加しました。模擬店の企画・運営は初めてで、イチからのスタートでしたが、夏休みや空きコマを利用して何度も集まり意見を出し合うなかで、学年関係なく仲を深めることができて楽しかったです。仕入れ値を少しでも安くしようと何件も店をまわったり、焼き鳥店は他に3店あったのでセットで購入するとお得にしたり、目を引くように看板や飾りつけにも力を入れました。当日の客数やライバル店の動向も視野に入れて売上を予想し、値段や販売量を決めてことで、普段学んでいる経済学を実際に体験でき、面白い経験でした。前日の夜まで看板を作成するなど準備は大変でしたが、当日は多くのお客さまにご購入いただき、2日間で1000本の焼き鳥を完売すること

ができました。「美味しい」と好評で達成感でいっぱいです！

今回の経験を活かし、来年度も後輩たちと模擬店を企画し、三蔵祭を盛り上げていこうと思います。是非ご期待ください！

経済学科 3年 八谷 麻衣



## 人間文化学部 人間文化学科 令和からみる福山城の歴史：築城400周年からの回顧

私たち人間文化学科は、福山城の歴史とそれに関連するイベントを用意しました。

本年2022年は、福山城築城400周年にあたります。それをふまえ、一般にはそれほど知られていない水野勝成の生涯やそ



の家族関係、福山の町並を紹介するパネルを展示するとともに、彼に関するクイズを用意しました。もうひとつの目玉企画は、戦国時代から江戸時代に活躍した忍者を体感できる「忍者道場」です。ここでは、手裏剣の的当て、玩具の銃を使った射的、輪投げなどを通じて、当時の忍者が身につけていた様々な技術の一端を実際に体験してもらいました。

2日間にわたる本番では、主に子ども連れ家族の方々が足を運んでくださいました。帰り際に「楽しかった」「ここへ来て良かった」と言ってもらえた時は、とても嬉しかったです。今回の企画は、文化企画実習の一環として開催した人文フェスタの内容をふまえて実施しました。計画段階からイベント実施まで話し合いを重ねながら、なんとか最後までやり遂げることができました。100%イメージ通りにできたわけではなく、「ああすれば良かった」「こうしたらもっと良い企画になった」と思う部分もありました。また、人数不足のために割愛せざるを得ないところもありましたが、できる範囲の中で納得のいくイベントができた良かったです。

人間文化学科 2年 小池 愛華・鈴木 あまね

## 工学部 建築学科 福山大学卒業の建築家有志による作品展

建築学科の三蔵祭企画としては初の試みとなる「福山大学卒業建築家作品展2022」を開催しました。1976年の開設から47年の歴史を誇る本学科は、全国各地で活躍する多くの卒業生を送り出しています。今回の展示では、第1期生や本学の教授・非常勤講師として現役学生を教えるOB・OGの建築家など13名の先輩の作品を展示しました。先輩方が設計された実際の作品を見ることで、私たち現役学生は魅了され、目指すべき目標となりました。

その他、恒例の和紙風の紙で作る「ランプシェード作りワークショップ」では、年代問わず多くの方にお越しいただき、満席でお待ちいただく場面もありました。また、「三蔵中継」と呼ばれる備後中継ぎ畳表の織機の実演も行いました。模擬店では、「びんご建築女子」がワッフルの販売を行い、販売想定個数の3倍を売り上げました。好評につき、2日間とも終了時刻を待たず完売しました。

3年ぶりの対面開催となった今回の三蔵祭では、リスタートの思いも込めて、これまで以上の取り組みを見せることができまし

た。特に、先輩方の功績を展示させていただいたことは、建築学科の歴史を物語るためにも、現役学生の意欲向上のためにも非常に有意義なものでした。卒業後は、自分自身の実績を展示できる仕事をしたいと思いました。

建築学科 4年 金子 慎一郎



## 工学部 機械システム工学科 機械システム工学科の紹介

機械システム工学科では、新カリキュラム展示・学生の課外活動展示・工作体験としてペーパーロケットの制作・カーレースゲーム体験を行いました。ペーパーロケットとレースゲームはとても人気で、順番待ちの列ができるほどでした。私は、課外活動



の出展とペーパーロケットの制作を担当しました。課外活動の展示では、VRを使った戦闘機大会の出場やアクロバット飛行展示についてポスターと動画を作成して会場に設置し、解説を行いました。

いくつか質問も受けたのですが、なかには「仮想世界を自分で作ってみたい」という方がおられました。ペーパーロケットの制作では、小学生の発想の豊かさに驚かされました。「2つのロケットを組み合わせ2重の羽根を持つロケットにすることで、性能と安定性が良くなる」という私には思い浮かばなかった発見をしていました。普通のロケットと同じパーツと手順で性能を上げるこのアイデアに、私は機械設計の心得を感じました。性能だけではなく製作難易度やコストを考えて設計するということです。このアイデアに独自の改良を加えて試遊用サンプルを作ったところ、子どもたちに大人気で、とても嬉しかったです。

昨年、一昨年と大学祭は非公開だったので、今年は入学して初めて公開される大学祭に参加しました。大学祭に参加していろいろな人と交流ができ、楽しい経験ができました。

機械システム工学科 2年 船木 海翔

## 生命工学部 海洋生物科学科 海洋生物を楽しむ企画を実施！

今年の三蔵祭において、海洋生物科学科では1年生による3つのテーマの企画展示を行いました。1つ目は、学科恒例企画の「金魚すくい」です。次々に訪れるお客様の対応に担当メンバーは大忙でしたが、その中でポイ作りを極めた学生や、練習して軽々とすくう技を会得した学生も現れ、常にぎやかな企画になりました。2つ目は、私も担当した「海洋ジオラマ」です。干潟・沖縄・深海を再現したジオラマの展示で、海岸や生き物の模型作りという慣れない作業でしたが、形ができるのは楽しく、皆で協力して作り上げました。展示当日、一部のジオラマで生き物の模型を来場者が自由に動かせるようにしたところ、見るとたびに模型の位置が動かされている様子に、触れる展示の面白さを実感できました。3つ目は、「プラ板作り」です。様々な海の生き物のプラ板に色を塗り、オーブンで固めて、紐とビーズをつけてオリジナルアクセサリーを作ります。透明できれいなアクセサリーは、お子さんをはじめ多くの人に人気でした。

私自身、全学三蔵祭委員の業務との両立で大変でしたが、今回の学科の取り組みを通して、あまり関わりのなかった同級生とも協力しながら企画を成功させることができ、達成感が得られま

した。これからも三蔵祭に参加して盛り上げていきたいと思っています。

海洋生物科学科 1年 西羅 龍斗



## 薬学部 薬学科 はじめての対面での三蔵祭

今年の三蔵祭は、3年ぶりにお客さんがいる対面開催でした。この空白の3年間で変化した状況下でも、三蔵祭に向けて薬学部の各班は伝統企画や新しい企画など、それぞれ準備をしてきました。私の所属する幹事会は、創設したばかりで歴史も浅



く、今年初めて有観客で三蔵祭を迎えました。そこで今年の目標を「挑戦の年」にし、班メンバーで協力して励みました。これまで経験がない分、右も左もわからない手探り状態で思い描いていることを実際に実行するのは難しく、準備もなかなか進まず、たくさんの話し合いや試行錯誤を繰り返しました。

三蔵祭当日は予想外のことも起こりましたが、先生方や先輩方、卒業生の方、班メンバーなどたくさんの方々に助けていただいたおかげで、無事に終えることができました。今年の経験を糧に、来年以降もより良い三蔵祭にしていきたいと思っています。

振り返れば大変なこともありましたが、たくさんの楽しい思い出と普段の日常生活では味わうことのできない貴重な経験をさせていただきました。それも全て周りにいる方々がいて初めてできる経験で、私を支えてくださった方々には感謝してもしきれません。

三蔵祭に足を運んでくださった方々や応援してくださった方々、本当にありがとうございました。そして、また来年も無事に三蔵祭が迎えられるよう、皆さんの健康をお祈りいたします。

薬学科 2年 藤井 愛美

# 大学教育センター 大学教育センターの紹介

大学教育センターは、「学修支援体制の充実」、「グローカル人材の育成」、「大学教育改革の推進」を柱に、日々教育と研究を推進しています。大学祭は、大学教育センターを学内外の多くの方に知っていただく機会と考え、「楽しい大学教育センター2022」をテーマに参加しました。大学教育センターを紹介するポスター展示を行い、英語学習の楽しさを伝えるために外国語ネイティブ教員が作成した動画教材「1minute English」のビデオを上映しました。また、体験コーナーとしてカンバッチ作成コーナーを開設し、いろいろな年齢層の方にお楽しみいただけたようにしました。

当日は英語のネイティブ教員4名が加わり、和やかに来場者をお迎えしました。対面形式では3年ぶりとなりましたが、福山大学の学生はもちろんのこと、小さいお子さんを連れたご家族連れも多く来場いただき、大変にぎわいました。今回初めてLowes准教授がデザインした、各学科をイメージしたイラストを用意したところ、特に海洋生物科学科をイメージした魚のカンバッチが人気でした。時折ネイティブ教員との英会話を楽しんでいただき、大学教育センターらしい雰囲気を感じてもらえたのではないかと

しょうか。お祭りにぎやかさを楽しんでいただき、併せて大学教育センターについても知っていただけたことと思います。

大学教育センター



# 附属図書館 第48回三蔵祭にてビブリオバトルを開催！

今年の三蔵祭は2年ぶりの対面開催になり、附属図書館でも活気あふれるイベントを開催しました。おすすめの本を来場者に紹介してもらう「本の紹介カードの作成」「本の帯作成」、EUに関する知識を深める「EUiクイズ」、資料の探し方を学ぶ「蔵書検索



クイズ」、そして「全国大学ビブリオバトル2022 中国Bブロック地区予選会」のオンライン開催です。

福山大学では2年ぶりのオンライン開催となったビブリオバトルですが、発表者の募集をしたところ、寄光真衣さん(メディア・映像学科3年)、高田結衣さん(メディア・映像学科3年)、村上りのさん(海洋生物科学科2年)、竹口岩根さん(海洋生物科学科3年)の計4名のパトナーによる発表が行われました。どの発表からも「この本が好き」「みんなに読んでもらいたい」という熱い思いが強く伝わってきました。投票の結果、高田さんの『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』(太田紫織著、角川書店)がチャンプ本として選ばれました。高田さんは福山大学の代表として、広島大学で開催される「全国大学ビブリオバトル2022 中国Bブロック地区決戦」への出場が決定しました。

学生が主体となり実施される三蔵祭のなかで、附属図書館でもビブリオバトルを通して、観戦者として参加された一般来場者や学部の垣根を超えた学生同士の交流、そして学生たちの活躍を見ることのできた、学びの場の祭典となりました。

附属図書館



# 活躍する教員&学生

## 第2回「わくわく!!工作教室」を開催!

8月6日(土)に、東和工業株式会社からのご提案で、プロジェクトM主催・今津まちづくり推進委員会共催の「わくわく!!工作教室—貯金箱を作ろう—」を今津交流館にて開催しました。参加者は小学生の親子連れ14組34名、プロジェクトMの学生と秦野教授、東和工業株式会社、地域及び福山市地域振興課のスタッフを含め計50名でした。もちろん、新型コロナウイルス感染症対策も行いました。

最初に東和工業株式会社 社長の金川 竜也様の挨拶があり、次いで貯金箱の考案者の一人である社員の方から作り方の説明があり、子どもたちは内側の板をどのように組み合わせるか当てがいながら説明を聞いていました。

デコレーション材料は、今津交流館からご提供いただき



ました。カラフルでバリエーション豊富な材料を見つめながら、子どもたちはそれぞれ自分の貯金箱の完成図を想像していきます。

そして、いよいよ組み立てを開始すると、子どもたちの実際に多様で天才的なアイデアは、保護者を含め周りの大人们を驚かせます。その表現力にただただ感心するばかりです。なかには、家から持ってきた画材道具で更なるデコレーションを考えつく子どももいました。

作り始めたらあっという間で、予定より早く完成させる子どももあり、みんな大事に持って帰りました。短い時間でしたが、楽しい空間を提供でき、一同大満足でした。

税務会計学科 4年 麦田 匡孝



## 留学生が地元中学生と英語で交流!

大学院に入学して以来、私にとって最も忘れない経験は、各国からの留学生と一緒に盈進中学校の「A Whole Day English」という英語強化のための学習プログラムに参加したことです。今回は、経緯や感想についてお話をします。

その日の行事は、「中学生との英語コミュニケーション」と校内で行われる「宝探しゲーム」の2つの部分に分かれます。自己紹介はちょっとしたゲーム形式で行い、とても楽しく、お互いの距離も近くなりました。ゲームが終わると、中学生たちは6つのグループに分かれて、6名の留学生と顔を合わせて話をしました。私たちは会話の中で、写真紹介や質疑応答などの形式でお互いの趣味、故郷、文化を共有して、さらに深



く理解することができ、たくさんの中学生と仲良くなりました。

10分休憩の後、宝探し始まりました。先生は中学生のチームに調査すべきリストを配りました。留学生たちもこのゲームを通じて、学校の図書館や教室・自習室・多目的室などを見学して、中学生たちの1日の生活をさらに理解することができました。

午後2時に私たちの交流活動は終了しましたが、みんなで一緒に写真を撮って別れました。ほんの数時間のお付き合いでしたが、たくさん友達になりました。また機会があれば、次の出会いを楽しみにしています。

経済学研究科 2年 李 思萌



# ベトナム貿易大学(FTU)とのオンライン交流会を実施!

私たちのゼミでは、7月14日(木)に福山大学の協定校であるベトナム貿易大学(Foreign Trade University)とのオンライン交流会を実施しました。2週間程前から準備を始め、「どうしたらベトナム貿易大学の学生に上手く伝えられるか」、また今秋から日本の大に留学する学生が多いということで、「その学生の日本の大学や日本留学に対する不安を少しでも取り除けたら」と思い、発表の準備を進めました。

当日は、ベトナム貿易大学の「コロナ後のベトナム観光について」というプレゼンテーションから始まりました。動画を使われており、実際に現地に行ったかのように感じられる素晴らしいプレゼンテーションでした。私たちも「日本の大

学生生活」や「日本の若者文化」について発表しました。発表後のフリートークでは、お互いの国の食べ物を紹介したり、好きなアニメやゲームの話をしたりしました。

私は1年生の時から留学したいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、その希望は叶いませんでした。そうしたなかでのこのオンライン交流会はとても貴重な体験で、「海外に行きたい」と改めて強く感じることができました。この交流後、3年ぶりに行われたインドネシアのバリ島研修に参加しました。次にこうした交流会が開催されたら、世界共通語である英語でコミュニケーションを取りたいと思います。

国際経済学科 3年 遠竹 悠斗



# 張楓教授、学会賞をダブル受賞!

拙著『近現代日本の地方産業集積—木工から機械へ』(日本経済評論社、2021年)は、今年6月に企業家研究フォーラムより第16回学会賞、10月に政治経済学・経済史学会より2022年度学会賞をダブル受賞しました。企業家研究フォーラム賞は、企業家や企業家活動(アントレプレナーシップ)の分野において最も優れた学術的研究に、また政治経済学・経済史学会賞は、日本経済・世界経済の現状及び歴史に関する理論的・実証的分析において優れた業績に対して授与されます。

拙著は、戦前から戦後、さらに現代を射程に入れた1世纪という長期にわたる多様な地方産業・企業(下駄・家具・木工機械)の通時的な考察に挑んだ作品でした。それ

は、歴史的に蓄積されてきている地方産業の多様性や構造的特質を見出すには非常に有効であると考えたためです。それでも、新たな試みやチャレンジには常に様々な不安や課題が付きまといますが、地域密着型学問を重視する福山大学はそうした悩みを打ち消してくれると共に、多くの地元企業との出会いを醸成してくれました。拙著は、木工産業から機械工業へと変容する備後地域のダイナミックなモノづくりの百年史であり、また私が福山大学で試行錯誤を繰り返してきた研究・教育の集大成でもあるともいえます。

税務会計学科 教授 張 楓



## 「科搜研の女」による対談が実現！

「捜査心理学」は、犯罪捜査に活かされる心理学的手法について正しく理解し、ワークで実際に体験することでそれらをより深く学ぶことができる授業です。第一線で活躍されている現役警察官・警察職員の方々による特別講義が複数回行われることも、この授業の大きな魅力です。

今年度は、心理学科及び大学院人間科学研究科の卒業生でもあり、島根県警察本部刑事部科学捜査研究所で心理科研究員として勤務されている岡崎麻依さんを特別講師としてお迎えしました。岡崎さんは、科捜研を目指したきっかけから実際にどんな仕事をしているのかまで、受講生からの質問に丁寧に答えてくださいました。在学中からボラン

ティア活動等の様々な経験を積んでいた岡崎さんから語られる言葉の数々は在学生に大いに響き、進路を見つめ直したり、深く考えるきっかけとなったりした学生も多くいました。

講義後半は、今年度から着任した、同じく本学の卒業生かつ元静岡県警察の科捜研研究員であった濱本有希助手も参加してくれました。受講生の先輩かつ科捜研に就職した2人と、同じく科捜研出身である私という、新・旧「科捜研の女」3名が集う非常に珍しい対談の実現です。科捜研に至る経緯等は三者三様ですが、共通で盛り上がるトークも多くあり、受講生も普段聞けないトークを楽しんでくれたようです。

心理学科 講師 大杉 朱美



## 鞆の浦 de ART 2022への作品を出品！

9月25日(日)～10月16日(日)まで開催された「鞆の浦 de ART 2022」に、福山大学メディア・映像チームとして、学生たちの日頃の学修成果をまとめた作品展示を行いました。「鞆の浦 de ART」は、歴史的建造物が数多く残る鞆の浦の町中に芸術作品を展示することで、日常の中で非日常を体験するアートイベントです。メディア・映像学科は2014年から同イベントに参加していますが、学生が制作した作品を展示するだけではなく、「日韓トップ囲碁対局・鞆」のネット配信にも協力しており、鞆の浦は教育／制作活動の拠点の一つになっています。

「鞆の浦 de ART 2022」では、鞆の浦の中心部に位置する太田家住宅新蔵の半分をお借りして、作品展示を行いま

した。卒業研究の一環で取材を続けている地域活性化に取り組む人々の声と姿を記録したインタビュー映像や、鞆の浦一帯に残る文化遺産を忠実に再現した3次元CG映像を上映したり、学生たちの日常をそれぞれの視点で切り取った写真作品を展示したりしました。会場には、作品を鑑賞しにお越しくださった方はもちろんのこと、観光のついでに立ち寄ってくださった方もいました。学科の活動を知っていただく貴重な機会になりました。

本学科では、学生たちの学びの成果を、学外の方に向かって発信する活動を様々に行っています。今後の活動に、是非ご注目ください。

メディア・映像学科 講師 丸山 友美



# 3年生ドローンプロジェクトチームが国際会議 ICIUS2022 で発表！

知的無人システムに関する国際会議 The 18th International Conference on Intelligent Unmanned Systems(ICIUS2022)が、8月9日(火)～12日(金)の日程で徳島(オンライン)で開催されました。この学会で、スマートシステム学科3年生が中心のドローンチームが取り組んでいるドローンを用いた災害対応システムに関する研究を発表しました。発表タイトルは、「Disaster information collecting system using the drone with extended features(機能拡張したドローンを用いた災害時情報収集システム)」で、"System for disaster area"のセッションでの発表です。

この研究は、2019年度入学の先輩方が初年次教育の教養ゼミで、ドローンを使ったレスキュー ボットを提案して始まったものです。私たちが引き継いでからも2021年度の



ひろしまベンチャー助成金学生枠金賞をいただいたり、寄贈していただいたドローンを活用したり、積極的に研究に取り組んできました。今回は初の国際学会への参加で、英語によるプレゼンテーションはかなり緊張しましたが、普段の環境の中で仲間のサポートもあり、準備してきたことを十分に発揮できたのではないかと思います。また、英語による質疑応答もありましたが、冷や汗をかきながらもなんとか対応し、これまで研究してきたプロジェクトに対し、世界の研究者の方々から貴重なアドバイスを受けることができました。今回の経験を活かして、自身の成長とドローンプロジェクトの発展を実現したいです。

スマートシステム学科 3年 市川 智也



# 教育におけるコンピュータに関する国際会議で学生と教員が発表！

8月20日(土)から8月24日(水)までの5日間、広島市の国際会議場をZoomなどでオンライン会場と結んで、教育におけるコンピュータに関する国際会議 WCCE2022 (World Conference on Computers in Education, <https://wcce2022.org>) が開催されました。この会議は Towards a Collaborative Society through Creative Learning (創造的な学習による協調的な社会を目指して)をテーマに開催され、本学からは工学部情報工学科4年生の三宅匠さん(広島県立神辺高等学校出身)と山之上卓教授が発表を行いました。

WCCE2022は、1960年にユネスコの提案により設立された国際機関 IFIP(International Federation for Information Processing, 情報処理国際連合)と日本の情報処理学会が共同で開催したものです。この他、デジタル庁・文部科学省・総務省・経済産業省・広島県・広島市等の団体の後援を受けています。WCCEは1970年から開催されていたのです

が、今回はアジアで初めての開催だったそうです。

三宅さんの発表は、「Comparison of Teaching Environment in Hybrid-Flexible Class」という題で、対面授業・テレビ会議システムを用いた同期型オンライン授業・LMS等を用いた非同期型授業について、受講者のアンケート調査を取った結果に基づいて報告したものです。この内容は高等学校(備後圏)との合同教育研修会においても紹介されています。

また、山之上教授の発表は、「Five Years of Experience in Improvement of a Technical English Class Using Information Technologies」という題で、専門英語の授業を5年間に渡り改善したことについて述べたものです。この改善には、福山大学全体で行われている授業評価アンケートの結果も利用しています。

情報工学科 教授 中道 上

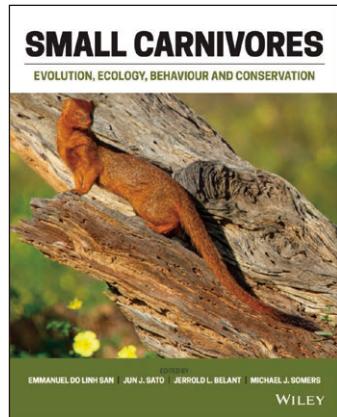


# 『Small Carnivores：小さな食肉類』刊行！

Wiley-Blackwell社より『Small Carnivores: Evolution, Ecology, Behaviour and Conservation(小さな食肉類：進化、生態、行動、保全)』が刊行されました。長い長い道のりでした。

2013年に、北アイルランドのクイーンズ大学ベルファストで第11回国際哺乳類学会議が行われ、『小さな食肉類』に関するシンポジウムを開催し、その後、本を作成することとなりました。これまではトラなどカリスマ性のある大きな食肉類に注目が集まっていましたが、生態系の中で重要な役割を持つ小さな食肉類についても知識を結集しようと考えました。世界中の研究者と一緒に本を作ることは、とても大変な作業でしたが、Emmanuel Do Linh San博士を筆頭にまとめあげ、ようやく世に送り出すことができ、嬉しく思います。

私は第1章と第2章の著者、及び第二部(進化、系統、分布)のエディターとなりました。第1章では保全の状況、第2章ではレッサーパンダやイタチ科の進化についての総説を書きました。若い方に是非読んでいただきたいです。ここ数年、新型コロナウイルス



感染症により国際交流がことごとく潰れましたが、2023年にはアメリカのアラスカで開催される第13回会議で10年ぶりに仲間と再開する予定です。楽しみです。

生物工学科 教授 佐藤 淳



## 福山大学×福山エーガル8シネマズ「出張！ミニミニすいぞくかん」を開催！

私たち海洋生物科学科の学芸員養成課程4年生21名は、9月6日(火)～19日(月)の日程で福山エーガル8シネマズと連携し、さかなクンの半生を描いた映画「さかなのこ」の上映に合わせた「出張！ミニミニ水族館」を開催しました。映画館ではマダイやトビハゼ、ヘイケガニなど瀬戸内海に生息する生物約20種類を5つの水槽で展示しました。9月11日(日)には上映終了後に、福山大学マリンバイオセンター水族館とスクリーンをライブ映像でつなぎ、水族館内の生き物たちについて紹介するオンラインツアーを開催しました。

ツアーでは、会場で司会進行を行う2名と水族館でポイントガイドを行う4名の学生に分かれ、私は毒を持つ海の生



き物について自身が刺された経験を交えて水族館から紹介しました。一般の方を相手とした発表は今回が初めてで緊張もありましたが、それ以上に大変貴重な経験を得ることができたと感じています。

近年のコロナ禍により学芸員実習生としての経験を積む機会が減っていますが、このような発表の機会を与えてくださった映画館スタッフの方々には感謝の言葉しかありません。今回の経験をもとに、海洋生物の魅力を多くの方に伝え、様々な方に興味を持ってもらえるような学芸員となるため、残りの実習期間も一生懸命に取り組みたいと思います。

海洋生物科学科 4年 井口 隆暉

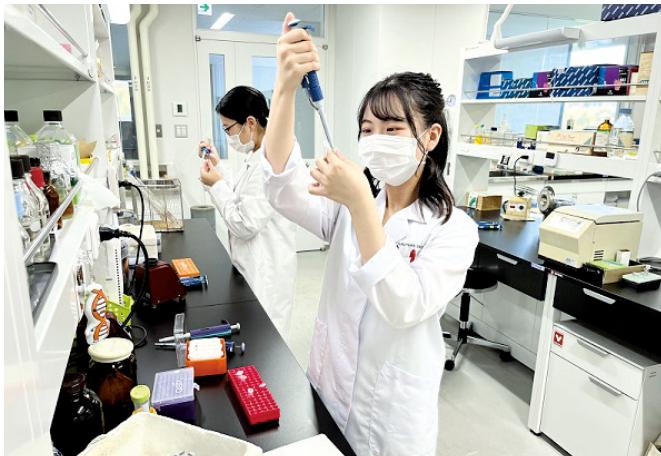


# 薬学研究に挑み、その成果を国際学術誌へ発表！

私は高校の生物の授業から遺伝子について興味を持つようになり、福山大学に入学後は遺伝子に関わる講義や実習を通して、遺伝子と病気に関する研究をしたいと思っていました。3年生後期に念願の病態生理・ゲノム機能学研究室へ配属されてからも、実験に勤しんできました。課題研究では、日本における死因上位を占める心疾患や脳血管疾患など循環器疾患の発症メカニズムの理解を通じて、新たな治療標的分子を探索し、創薬への応用を目指して研究を進めてきました。約3年間の研究期間には、新型コロナウイルス感染症による世界的パンデミックの影響を受け、大学の休校に続き、オンライン授業や5か月間の薬局・病院実務実

習など、思うように実験が進まず焦燥感に駆られることもありました。しかし、先生方のご指導と研究室メンバーの支えもあり、諦めずに研究を続けることができ、今年の8月にこれまでの課題研究の成果を国際学術誌 *Biomedicines* に発表することができました。今は自分の努力の成果が世界に発信される喜びと達成感でいっぱいです。そして、今後益々遺伝子と疾患の関係性についての研究が進み、私の課題研究が医療の発展の一助になってくれると嬉しいです。詳細については、是非8月9日(火)公開の学長室ブログをご覧ください。

薬学科 6年 山岡 愛主



# 認知症カフェに参画、青少年育成広島県民会議から青少年表彰を授与！

私は4年生のときにボランティア団体「和ごころ」に加入し、5年生から「和ごころ」代表兼認知症カフェ「cafeGETA」の実行委員として運営や企画に携わってきました。新型コロナウイルス感染症の影響によるスタッフ不足や参加者の安全面を考慮すると、2020年3月から1年弱もの間カフェの開催延期が続きました。全国的に見ても対面での開催は困難で、オンラインでの開催が主流となる中、カフェ再開を望む地域住民の声に後押しされ、対面での再開に向けて検討しました。Zoomによるオンライン会議から始まり、感染リスクを考慮した人数制限や企画、綿密なシミュレーションを行うことによって、対面でのカフェ再開を成功させることができました。この方法を多くの認知症カフェ運営者にも活用し

ていただけたように、「コロナ禍における対面式認知症カフェ再開に向けた取り組み」と題する論文を認知症ケア事例ジャーナルに報告しました。これらの活動や報告が評価され、青少年育成広島県民会議から青少年表彰を受賞することができました。

認知症カフェに参加したこと、お年寄りにとって自分の住む街に通いの場があることの大切さを実感するとともに、この通いの場を守っていくことの重要性と使命感を感じました。少しでもカフェ継続に貢献できたなら幸いです。この活動がより多くの方に広まり、脈々と受け継がれていくと良いなと思います。

薬学科 6年 吉岡 利紗



## 入試広報室から

### ◆入試説明会

高等学校進路指導担当者を対象に、福山大学・福山平成大学の入試説明会を6月6日(月)～10日(金)の計5日間、中国・四国・九州の8会場で開催しました。本学会場では大学参観を兼ねた入試説明会を実施し、参加教員の事前希望で各大学の施設・設備を見学後、未来創造館で両大学の入試説明会を行いました。参加者は、計12県83校88名でした。

### ◆進学相談会(業者主催)

今年度の業者主催の進学相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が徹底された環境の中、各地区で開催され、関西・中国・四国・九州・沖縄の24都市44会場で高校生・保護者・教員の進学相談に応じました。

### ◆高等学校による生徒・保護者・教員の本学訪問

高等学校の上級学校訪問を受け入れています。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で、コロナ禍以前と比較すると訪問高校数は減少していますが、徐々に増え、今年の福山大学への訪問は10校479名でした(11月末現在)。

### 令和5年度 一般選抜前期A日程・大学入学共通テスト利用選抜(前期)

試験のある学部	福山大学	福山平成大学
	経済・人間文化・工・生命工・薬	経営・福祉健康・看護
出願期間	令和5年1月5日(木)～1月24日(火) 消印有効	
試験日	令和5年1月31日(火)～2月3日(金) ※試験日自由選択制 (大学入学共通テスト利用選抜は、個別学力試験は課しません。)	
合格発表日	(一般選抜前期A日程) (大学入学共通テスト利用選抜(前期)) 令和5年2月8日(水) 令和5年2月10日(金)	
試験地	【1/31～2/3】本学・福山(社会連携推進センター)・広島・山口・福岡・岡山 【1/31】鳥取・浜田・宮崎 【2/1】米子・大分 【2/2】静岡・京都・熊本 【2/3】名古屋・神戸・佐賀 【1/31・2/1】東京・大阪・松山・高知・鹿児島 【2/2・2/3】松江・高松・今治・小倉	

### 令和5年度 一般選抜前期B日程

試験のある学部	福山大学	福山平成大学
	経済・人間文化・工・生命工・薬	経営・福祉健康・看護
出願期間	令和5年2月4日(土)～2月15日(水) 消印有効	
試験日	令和5年2月21日(火)	
合格発表日	令和5年2月24日(金)	
試験地	本学・福山(社会連携推進センター)・広島・岡山	

### 令和5年度 一般選抜後期日程・大学入学共通テスト利用選抜(後期)

試験のある学部	福山大学	福山平成大学
	経済・人間文化・工・生命工・薬	経営・福祉健康・看護
出願期間	令和5年2月22日(水)～3月7日(火) 消印有効	
試験日	令和5年3月11日(土) (大学入学共通テスト利用選抜は、個別学力試験は課しません。)	
合格発表日	令和5年3月15日(水)	
試験地	本学・福山(社会連携推進センター)・広島・福岡・岡山・大阪	

### ◇入学金減免制度について◇

福山大学及び福山平成大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度を実施しています。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学及び福山平成大学の卒業生又は在学生(留学生は除きます)です。詳細については、入試広報室までお問い合わせください。

### ◇入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置について◇

福山大学では、地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対して、申請に基づき、本学入学試験受験生に対する入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置を行っています。詳細については、入試広報室までお問い合わせください、ホームページをご確認ください。

**編集後記** 今回の学報174号では、久々に通常のかたちでの開催となった三蔵祭についてもお知らせすることができました。対面での三蔵祭への参加は初めてという学生も多かったのですが、その熱が伝わる記事になっているでしょうか。今後も、変化する状況のもとでのいろいろな本学の情報や学生、教職員の取り組みをお伝えします。また、Instagramでも大学のことをリアルタイムで発信しています。FOLLOW US!

発行 福山大学  
編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>